

令和4年度 事業報告

新型コロナウイルス感染症の発生から3年が経ち、ようやく海外からの入国制限の緩和や感染者・濃厚接触者の隔離・待機期間の短縮、全国旅行支援の実施などにより経済活動の活性化が図られた。

経済状況では、ロシアのウクライナ進行に端を発したエネルギー・食料・原材料の高騰により、世界的インフレ傾向にあり、国内においても急激な円安や物価上昇など先行き不透明な状況であった。

住宅・不動産市場においては、人件費や資材価格の高騰、その他輸送コストの増加などにより、不動産価格は高止まりしており、一時取得者の住宅需要が停滞することが危惧されている。

我々は、そういう問題に対し、一企業の努力だけでなく、会員全社で努力し良質な住宅を納得いく価格で提供していく使命がある。

協会活動としては、10年ぶりに九住協が幹事協会として福岡において全住協全国大会を開催した。3年ぶりとなった全国大会では北は北海道から南は沖縄まで全住協をはじめ18の協会会員及び来賓等、約580名が集結し、九住協会員が一丸となって大会を盛り上げ盛会裏に終わった。その他では、定時総会・忘年会・賀詞交歓会等の開催や研修会も会場でのリアル開催やオンライン開催を行い、ようやくコロナ前の活動に戻りつつあった。

なお、令和4年度の現状と活動状況等の概要については、以下の通りである。

1. 組織運営

(1) 組織の構成

① 会員数 154社(令和5年3月31日現在)

年度中の入退会(令和4年4月1日から令和5年3月31日迄)

○入会(6社)

株式会社大井不動産	(令和4年4月1日)
株式会社グリーンクロス	(令和4年4月1日)
地盤ネット株式会社	(令和4年5月1日)
三井ホーム株式会社	(令和4年7月1日)
エスリード株式会社	(令和4年10月1日)
K.ホールディングス株式会社	(令和4年11月1日)

○退会(7社)

株式会社匠建築研究所	(令和4年5月31日)
株式会社アーケブレイン	(令和4年10月31日)
株式会社R'Z エバーラスティング	(令和4年10月31日)
MAKIHAUS 株式会社	(令和4年11月30日)
株式会社リブゼ	(令和4年12月31日)
eco'z 株式会社	(令和5年1月31日)
株式会社大濱組	(令和5年3月31日)

② 役員（任期:令和4年5月～令和6年5月）

理事長	橋本 大輔	(株)ファミリー
副理事長	中島伸一郎	(株)九州三共
副理事長	原田 透	(株)えんホールディングス
副理事長	坂口 剛彦	ディー・アンド・エイチ(株)
副理事長	金子 幸生	日建建設(株)
副理事長	塩山 耕起	アルバクリエイト(株)
副理事長	中山 朋幸	(株)LANDIC
理事	山下 隆吉	中村建設(株)
理事	篠原 隆盛	粕屋殖産(株)
理事	東 潤一郎	東宝住宅(株)
理事	今村 誠児	辰巳開発(株)
理事	中垣 昌康	(株)アライアンス
理事	新井 晋一	(株)ネスト
理事	百田善太郎	(株)百田工務店
理事	小田 文明	西部ガス(株)
理事	藤木 久臣	(株)福岡地行
理事	中屋敷善太郎	(株)なかやしき
理事	豊福 祐右	西武ハウス(株)
監事	林 匡彦	星野合同事務所
監事	伊勢田 直	(株)グランディア

③ 部会

協会活動に会員の意見を活発に反映させ、また、協会運営を適正に執行並び迅速に行うため、以下のとおり8部会を設置し、部会員の募集・構成を行った。

総務部会 部会長：原田透（えんホールディングス）
副部会長：田中浩和（アム・レポ） 豊福祐右（西武ハウス）

【部会員】

一色美昭（アキスタイル） 原田浩平（内藤工務店） 中野雅彦（サカケ）
宮川土成（宮川建設）

政策企画部会 部会長：中山朋幸（LANDIC）
副部会長：藤木久臣（福岡地行） 伊勢田直（グランディア）

【部会員】

徳田泰寛（アイネット） 木全聖一郎（旭工務店） 岩下祐士（岩下建装） 坂平隆司（サヒラ）
小城正裕（ベルホールディングス） 中村正次郎（エヌプラスアーキテクトデザインオフィス）
原田透（えんホールディングス） 松本良巳（カセツバンク） 栗秋大亮（メイク・コーポレーション）
仁上純（信和工業） 高倉力矢（福高総合技術コンサルタント） 長尾高土（PLEAST）
宮川土成（宮川建設） 金本光弘（エバーサル通商） 橋住柁風（リエイジアエージェンシー）

- 金融税務部会 部会長：中島伸一郎（九州三共）
副部会長：今村誠児（辰巳開発）
【部会員】
岡部安三（岡部産業） 舟木和博（新日本ホームズ） 諸岡正敏（大地建物）
西村和芳（第一不動産） 藤原康弘（タケイ） 早川雄二（トラスト不動産開発）
- 研修広報部会 部会長：金子幸生（日建建設）
副部会長：篠原隆盛（粕屋殖産）
【部会員】
久保山慶一（上村建設） 横田和也（奎成） 小田文明（西部ガス）
大原光晴（サカイシステム） 原田善博（サテック九州） 森井大輔（創実エンジニア）
繁名健（カギ） 森崇紀（電友社） 中島正裕（トマイ） 日下宣明（ニチコー）
林匡彦（星野合同事務所） 百田善太郎（百田工務店） 井上智之（吉川工務店）
渡辺真士（グリーンクロス） 加藤裕二（エソソ） 中屋敷善太郎（なにかやしき）
基彰伸（地盤ネット） 井川陽介（大井不動産）
- 組織部会 部会長：塩山耕起（アルバクワイエット）
副部会長：山下隆吉（中村建設）
【部会員】
中垣昌康（アライアンス） 村上秀樹（オークハウジング） 宮副直哉（九州建設）
服部孝司（新築都市開発） 山本浩之（創健舎工房） 森井大輔（創実エンジニア）
穂坂博史（タケイ） 内梨樹一郎（トライス） 中村政博（中村石材工業）
橋本大輔（ファミリー） 松吉展明（松吉建設） 下田康弘（三井ホーム）
- 戸建部会 部会長：坂口剛彦（データ・アンド・エイ）
副部会長：百田善太郎（百田工務店）
【部会員】
今村成剛（今村組） 篠原隆盛（粕屋殖産） 畑中直（健康住宅） 日暮丈裕（西部ガス）
大原光晴（サカイシステム） 中山忠和（JR九州住宅） 舟木和博（新日本ホームズ）
渡辺博之（トクテ都市開発九州） 今村誠児（辰巳開発） 竹田幸彦（谷川建設）
和田賢（東宝ホーム） 基彰伸（地盤ネット） 金子幸生（日建建設） 福谷広志（不動産プラザ）
入江祐二（安成工務店） 金本光弘（エバーサル通商）
- マンション部会 部会長：中垣昌康（アライアンス）
副部会長：東潤一郎（東宝住宅）
【部会員】
一色美昭（アキスタイル） 蒲生和紀（曙設備工業所） 小島良和（大濠地所）
柴田泰宏（小笠原） 池田正幸（川口建設） 原田善博（サテック九州）
行徳亮助（第一交通産業） 山下隆吉（中村建設） 中園英次（中園）
前野豊（なにかやしき） 今泉裕太（長谷工コーポレーション） 熊田裕明（フルタイムシステム）
加藤裕二（エソソ） 白井智一（フクデン） 岡本達暁（大英産業） 基彰伸（地盤ネット）

【部会員】

田原武徳（エバーリンクリミテッド） 服部準（エイジエント） 原田透（えんホールディングス）

小島良和（大濠地所） 坂口義治（九電工ホーム） 樽林大平（クレ・コーポレーション）

小杉康之（コスギ不動産） 丸山滋生（シャープラン） 田中恵介（デア）

塩濱悟（内藤工務店） 金本光弘（エバーカル通商） 中山朋幸（LANDIC）

室井隆司（ロイズコーポレーション）

(2) 組織の活動

① 定時総会

令和4年度定時総会(令和4年5月13日 ANAクラウンプラザホテル福岡)を開催した。

下記の議案が原案のとおり可決承認された後、先の理事会で取り纏められた

令和4年度事業計画及び収支予算についての報告がなされた。

続いて定款の変更、役員改選について審議され、最後に優秀社員表彰(11社18名)の報告が行われた。

1. [第一号議案] 令和3年度事業報告及び収支決算について
2. [報告事項] 令和4年度事業計画及び収支予算について
3. 定款の変更について
4. 役員改選について
5. 優秀社員表彰について

総会終了後の懇親会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

② 理事会

総会で議決された事項や予算の執行並びに会務の円滑な推進を図るため定期的に理事会を開催した。

主要な審議事項及び結果は、次の通り。(議事録抜粋)

4月理事会(令和4年4月20日 ANAクラウンプラザホテル福岡)

第1号議案 令和3年度収支決算について

事務局から資料により説明。原案どおり承認された。

第2号議案 令和4年度収支予算について

事務局から資料により説明。原案どおり承認された。

第3号議案 定款の変更について

事務局から資料により説明。原案どおり承認された。

第4号議案 役員改選について

原田総務部会長から資料により説明。原案どおり承認された。

第5号議案 優秀社員表彰について

塩山組織部会長から資料により報告。なお、優秀社員表彰については5月13日の定時総会において表彰することを報告した。

第6号議案 全住協全国大会(福岡大会)について

事務局から資料により説明。原案どおり承認された。

第7号議案 リクルートからのブランディングの提案について

塩山組織部会長より九住協ブランディングの提案としてリクルートに企画案をお願いしたことを説明。リクルートよりブランディング向上における支援策が説明された。

5月理事会（令和4年5月14日 ANAクラウンプラザホテル福岡）

第1号議案 理事長・副理事長選定について

事務局から資料により説明。原案どおり理事長・副理事長が選定された。

6月理事会（令和4年6月14日 ホテルオークラ福岡）

第1号議案 令和4・5年度部会組織及び正副部会長選任について

事務局から資料により説明。原案どおり承認された。

第2号議案 関係団体への派遣役員の選任について

事務局から資料により説明。原案どおり承認された。

第3号議案 全住協全国大会（福岡大会）について

事務局から資料により説明。原案どおり実行委員会を中心に準備を進めていくことが決定された。

第4号議案 参議院議員選挙について

中山政策企画部会長より、7月に行われる参議院議員選挙について説明された。

10月理事会（令和4年10月25日 ホテルオークラ福岡）

第1号議案 全住協全国大会（福岡大会）について

事務局から資料により説明。11月の大会における最終確認が行われた。

3月理事会（令和5年3月14日 ホテルオークラ福岡）

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算見込みについて

事務局から資料により説明。原案どおり承認された。

第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算（案）についての件

事務局から資料により説明。原案どおり承認された。

第3号議案 全住協全国大会（福岡大会）収支決算について（報告）

事務局から資料により説明。原案どおり承認された。

第4号議案 全住協協会交流会（静岡開催）について

事務局から資料により説明。その後、金子研修広報部会長より説明し、参加要請を行った。

第5号議案 優秀社員表彰について

塩山組織部会長から説明。数多くの申請呼びかけを行った。

第6号議案 統一地方選挙応援体制について

事務局から資料により説明。その後、橋本理事長及び中山政策企画部会長より後援会名簿獲得に向けて、各部会長を中心に再度の呼びかけをお願いした。

③ 部会

会員企業へ各部会への参加を集い、協会活動に会員の持つ意欲、エネルギー、自主・自発性を協会活動に反映させ、また、先の理事会で決定した事項を円滑に進めるため活動を行った。主な議題は次の通り。

令和4年4月8日

研修広報部会

① 令和3年度 活動実績・令和4年度活動予定について

② リブ・コンサルティング研修会について

令和4年7月13日

戸建部会

令和4年8月5日

研修広報部会

- ① 令和4年度 活動実績及び今後の活動予定について
- ② チャリティボウリング大会について
- ③ アビスパ福岡・ギラヴァンツ北九州への広報活動について

令和4年8月30日

研修広報部会

- ① 第1回ふぁみりーカップ実行委員会

令和4年10月24日

研修広報部会

- ① 第2回ふぁみりーカップ実行委員会

令和4年12月27日

戸建部会

2. 主要事業概要

(1) 一般社団法人全国住宅産業協会 交流会等への参加について

① 全住協第51回全国大会（福岡大会）の開催

令和4年11月10日に福岡市のホテルオークラ福岡にて約580名の参加者（九住協からは160名の参加）のもと盛大に開催された。式典において、満場一致で次の「大会決議」がなされ、国及び関係機関へ働きかけを行うことになった。なお、来年の全住協第52回全国大会の開催は東海住宅産業協会が担当協会となって、愛知県で開催することが報告された。



【大会決議】

先行き不透明な難局をどう乗り切っていくかが今まさに問われている。

新型コロナウイルス感染症というパンデミックとの闘いが依然として続く中、ロシアによるウクライナ侵略と円安によるエネルギー・食料価格の高騰、本格的な景気回復の遅れ、依然として進行する人口減少・少子高齢化、さらには、頻発化・激甚化する自然災害への対応など、内外の難局が同時に押し寄せている。住宅産業分野においても、建築資材や設備の調達の遅れ、人材確保難による建築費の高騰、事業用地の取得難など、事業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にある。

住宅産業は国民の住生活の安定を支援するとともに、内需主導の持続的な経済成長を下支えする裾野の広い分野であり、住宅投資の拡大がもたらす効果は大きい。このため、住宅取得に係る国民の負担の軽減につながる十分な対策を講じることが極めて重要である。加えて、脱炭素社会の実現への貢献や良好な街並み・都市環境の維持といった、中・長期的課題の解決に向け住宅産業の果たすべき役割は大きい。すなわち、住宅産業分野を取り巻く諸課題を乗り切っていくためには、住宅は生活と経済成長を支えるものであるとの視点とともに、社会インフラとして次世代に良好なストックとして継承されるべきものであるとの視点に立脚し、制度・税制・金融面をはじめ、従来の延長線上にはない抜本的な対応策を講じることが求められている。

また、先行きが不透明な状況下である今だからこそ、デジタルトランスフォーメーション（DX）等社会生活の基盤の再整備を地道に行い、生産性の向上につながる仕組みを根付かせ次世代へ継承することが必要である。

我々全住協は、ここに第51回全国大会を開催し、住宅建設・不動産関連事業に携わる全国1,700社を超える会員を擁する団体として、住宅建設産業の健全な発展と国民の住生活環境の向上に積極的に貢献するという決意を新たにするとともに、下記重点項目を政府、関係機関に強く要望する。

記

- 一、消費税を含めた住宅税制についての抜本的な見直し
 - 一、フラット35融資制度の拡充、運用の一層の改善
 - 一、マンションの大規模修繕を計画的に実施するための支援措置の創設
 - 一、空き家の活用と除却円滑化の支援策の実施
 - 一、不動産DX等デジタルテクノロジーの定着支援
 - 一、住宅省エネの理解の増進と強力な支援策の実施
- 以上を決議する。

令和4年11月10日

一般社団法人 全国住宅産業協会
第51回 全国大会

今回の大会は、九州住宅産業協会（以下「九住協」）が幹事協会となり式典のほか、記念講演、懇親会を行い、翌日は【記念ゴルフ大会（芥屋ゴルフ倶楽部）】・【エクスカージョン（山口/下関観光）】を行った。



[九住協 橋本理事長挨拶（抜粋）] 福岡はアジアの主要都市とも大変近くまた、空港から中心部の博多・天神までの交通のアクセスも良く、正しく今アジアの玄関口と呼ぶのに相応しい都市になってきております。街中を見れば、天神ビックバン、博多コネクティッドを始め再開発が進んでおります。古いビルを規制緩和によって付加価値の高い新しいビルに建替えるというものでございます。この他にも箱崎の九大キャンパス跡地の再開発であるとか、ウォーターフロント開発であるとか、正しく活況を呈しております。我々も分譲マンションをたくさん供給させていただいております。福岡独自の規制緩和によって民間の活力を引き出して、それを成長モデルにしていくという仕組みは、全国の皆さんに大変参考にさせて頂けるのではないかなと思っております。民間調査会社の住みたい街全国自治体ランキングで、3年間福岡は第1位になっております。都市機能の充実もさることながら、自然にも大変恵まれて、美味しい食べ物もあって、そのあたりのことが評価されてのことではないかと思っております。私共住宅・不動産業界は、内需主導の経済成長の発展のために果たすべき役割は非常に大きいです。官民一体となって取り組むことによって、地域の経済ひいては日本経済の発展に貢献できればと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます

大会終了後、「サステナブルな時代の新しい 建築デザイン」と題して記念講演会を開催。末光 弘和氏（建築家、九州大学大学院准教授、SUEP.共同主宰）が講演を行った。

(2) 会員相互の交流会

① 新年賀詞交歓会の開催

令和5年1月20日にANAクラウンプラザホテル福岡にて3年ぶりに開催され、来賓・会員あわせて約180名の参加があった。

② 忘年会の開催

令和4年12月8日にホテル日航福岡にて開催され、83社116名が参加し会員相互の交流を深めた。

③ ゴルフ同好会の開催

令和4年度ゴルフ大会を4回開催し、会員相互の交流を深めた。

第1回 令和4年6月9日 志摩シーサイドカンツリクラブ 参加者32名

第2回 令和4年9月15日 芥屋ゴルフ倶楽部 参加者31名

第3回 令和4年12月8日 福岡カンツリー倶楽部 参加者29名

第4回 令和5年3月29日 ザ・クィーンズヒルゴルフクラブ 参加者26名

(3) 適切迅速な情報の伝達

国・地方公共団体・その他関係団体等からの経營業務に役立つ情報を迅速に各会員に伝達することを目的に、メール・FAX・ホームページを利用し情報を提供した。主な入手資料等は次の通り。

令和4年4月6日	令和5年度住宅土地関係税制、住宅省エネ化等に関するアンケート
令和4年4月6日	令和4年度ふくおか県産林家づくり推進助成事業に係る広報について
令和4年4月8日	「優良住宅地造成等のために土地等を譲渡した場合の課税特例」に係る調査
令和4年4月8日	第35回福岡県美しいまちづくり建築賞に関する後援会名簿の使用について
令和4年4月11日	改正不動産の表示に関する公正競争規約・同施行規則のお願いについて
令和4年4月11日	福岡市内における住宅建設計画及び宅地開発計画の調査について
令和4年4月13日	2022年第1回住宅ローンアドバイザー養成講座募集のご案内
令和4年4月27日	労務費、原材料費、エネルギーコスト等の取引価格を反映した適正な請負代金の設定や適正な工期の確保について
令和4年4月28日	飲酒運転撲滅活動推進員の啓発活動に対する御協力のお願いについて
令和4年5月6日	こどもみらい住宅支援事業の申請期限延長のお知らせ
令和4年5月17日	公正競争規約一部改正の周知について
令和4年5月19日	宅地建物取引業法の解釈・運用の考え方の一部改正について
令和4年5月19日	九州電力エリア内建設防護管取付に係る費用負担などの変更について
令和4年5月25日	2022年版「住団連プレス」「住宅と税金」発刊のご案内
令和4年7月1日	福岡市マンション管理計画認定制度と新たな支援策の開始について
令和4年7月6日	改正建築物省エネ法・建築基準法等に関する説明動画の配信について
令和4年7月25日	第9回まちなみ写真コンテストの募集について
令和4年7月29日	改正建築物省エネ法等説明会の開催について
令和4年9月13日	労務管理の専門家による個別相談会等に係るニーズ等の調査について
令和4年9月27日	あんしん建物検査・保証制度について
令和4年11月22日	こどもエコすまい支援事業等の事業者登録について
令和4年12月1日	下請契約及び下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底等について
令和4年12月8日	労務費、原材料費、エネルギーコスト等の取引価格を反映した契約の適正化について
令和4年12月21日	こどもエコすまい支援事業に係る要件の見直し等について

令和4年12月23日	こどもエコすまい支援事業説明会の開催について
令和5年1月5日	クリーンウッド法見直しに関するアンケート調査のお願い
令和5年2月2日	住宅省エネ2023キャンペーンの補助対象となる建材・設備の公開について
令和5年2月9日	不動産業務研修会の開催について
令和5年2月14日	不動産流通セミナーの開催について
令和5年2月28日	2023年3月「価格交渉推進月間」の実施について
令和5年2月28日	「住宅省エネ2023キャンペーン」住宅事業者向け制度説明会ご案内
令和5年3月10日	長期優良住宅・低炭素住宅及びZEH水準省エネ住宅の税制措置に係る調査
令和5年3月23日	住宅省エネ2023キャンペーンの交付申請の受付開始について

(4) 研修会の実施

技術・知識の向上と普及啓発等を目的として、広く参加者を集い、下記研修会活動を行った。

令和4年度に開催した主な研修会は、次の通り。

【九住協主催】

- ① 7月研修会(令和4年7月8日 パピヨン24) 参加者:26名
 テーマ:「“今”成果が出ている集客ノウハウ大公開」
 講師:株式会社リブ・コンサルティング 住宅不動産インダストリーグループ 松井 佳 氏
- ② 8月研修会(令和4年8月2日 八重洲博多ビル) 参加者:26名
 テーマ:「全国の街づくりの事例から学ぶ賑わいを生む街づくりの要諦とは」
 講師:株式会社リクルート SUUMO 編集長 池本 洋一 氏
 テーマ:「省エネ住宅の推進に係る【フラット35】等の制度改正について」
 講師:住宅金融支援機構九州支店 地域連携グループ長 岩井田 行洋 氏
 テーマ:「会社案内及びサービス案内」「九州エリアにおける地盤について」
 講師:地盤ネット株式会社 営業本部 西日本営業部 九州支社長 基 彰伸 氏
- ③ 10月研修会(令和4年10月4日 八重洲博多ビル) 参加者:15名
 テーマ:「今だから取り組むべき【企画住宅】セミナー」
 講師:株式会社リブ・コンサルティング 住宅不動産インダストリーグループ 鷺沢 正視 氏
- ④ 12月研修会(令和4年12月20日 パピヨン24) 参加者:16名
 テーマ:「表示規約改正含む不動産広告作成について」
 講師:一般社団法人 九州不動産公正取引協議会 事務局長 山下 裕之 氏
- ⑤ 2月研修会(令和5年2月3日 パピヨン24) 参加者:21名
 テーマ:「契約率“40%”を実現する『新』営業戦略セミナー」
 講師:株式会社リブ・コンサルティング 住宅不動産インダストリーグループ 鶴田 慎人 氏

【全住協主催】

令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)

延受講数11講座、延受講者21社・34名

(5)会員支援事業

① 九住協宅地建物取引士受験対策講座

当協会会員企業の社員の方を対象として、LEC 東京リーガルマインドと提携し本講座を開講。今年で8年目を迎え、過去100名を超える受講者を迎えた。本年度の参加は、10社15名。

開校日：令和4年4月19日 受講期間：4月～10月迄の6か月間（週一回延べ28回）

毎週火曜日、19時～21時40分迄の2時間半

② 不動産後見アドバイザー資格講習会

全住協が東京大学教育学研究科と後見制度と不動産について共同研究を行っており、「少子高齢化が深刻化している社会状況において、これから確実に増加することが見込まれる認知症高齢者等の判断能力が不十分な人に係る不動産について、適正な相談対応・管理・取引等の実施を可能とするため、不動産事業者の後見制度に関する知識の向上」を目的として、資格講習会を実施した。

③ 相続カウンセラー資格取得・認定試験

近年、相続に関する相談案件が増加しており、相談の中でも不動産関連の割合が多く、相談の知識が重要となっている状況を踏まえ「一般財団法人 日本相続カウンセラー協会」と業務提携を行い、同協会が資格認定を行っている相続カウンセラーの資格取得講座認定試験を8月と2月に行った。本年度の参加者は2社8名。

④ 特保住宅業務

住宅瑕疵担保責任保険の取扱いを全住協が特定団体として認定され受付しており、当協会もの窓口業務として5社の取次店事務等（「まもりすまい保険」住宅保証機構㈱、「JIOわが家の保険」㈱日本住宅保証機構）、「住宅あんしん保証」㈱住宅あんしん、「住宅かし保険」㈱ハウスジーマン、「ハウスプラスすまい保険」ハウスプラス住宅保証㈱）を行い、契約申込を希望する会員事業者へ情報提供と下記研修会を行った。

当協会の本年度受付分は、以下の通り。

令和4年度受付件数(令和4年4月～令和5年3月)

住宅保証機構㈱（戸建60件・共同22件） ㈱住宅あんしん保証(共同6件)

㈱日本住宅保証検査機構(JIO)（戸建256件・共同1件）

令和4年7月22日 特保住宅検査員研修会兼制度説明会 八重洲博多ビル 参加者20名

⑤ 手付金等保証業務

宅地建物取引業法第41条、41条の2で定めている「手付金等保証」を九州営業所として全国不動産信用保証㈱の業務を当協会が受託し、当協会会員などのマンション等購入者に対し、手付金等の保証業務をした。

当協会の本年度受付分は下記の通り。

令和4年度受付件数(令和4年4月～令和5年3月) 発行枚数 306枚 返還枚数 347枚

⑥ 全住協 安心R住宅制度の利用

全住協が特定既存住宅情報提供者団体として、安心R住宅制度を適正に運営するために定めた制度。中古住宅のマイナスイメージを払拭し、既存住宅流通市場の活性化を図るため、不動産の広告で標章（「安心R住宅」とロゴマーク）を全住協から標章の使用許諾を得て、「標章使用会員」となり使用する事ができる。表彰には必ず、全住協の正式名称を併記する規定となっている他、利用するには、全住協で定められた規程に沿って利用することが必須となり、その旨会員へ広く周知するなどした。

⑦ 九住協顧問弁護士による無料法律相談の設置

当協会会員企業を対象として「契約に基づくトラブル」や不法行為、相隣関係など契約以外の民事トラブルや行政法規・労働関係などの法律相談窓口として住宅・建築・土木・設計・不動産に関する法律業務を専門的に

取り扱う「弁護士法人匠総合法律事務所」と団体法律顧問契約を締結しており、令和4年4月～令和5年3月までの法律相談件数は72件(個別顧問契約相談件数含む)であった。

(6) 広報活動

① 会報誌「九住協だより」の発行

3か月に1回、年に4回定期的に発行し、主な出来事、協会の活動報告、新会員の紹介などを会員、一般消費者等にホームページを通じて配信を行った。また、会員へはホームページへの新着情報としてメール・ファックスにより配信情報をいち早くお知らせした。

② 九住協ホームページの運営

令和4年度、九住協ホームページについては、協会概要、会員名簿、活動内容等の基本コンテンツは変わらず、研修会開催や行事日程は随時掲載し、いち早く新しい情報提供をするよう努めた。

③ アビスパ福岡

令和4年11月26日 雁の巣レクリエーションセンターにて【アビスパ福岡主催】九州住宅産業協会協賛「ふぁみりーカップ」を開催し、親子約160名を招待した。

④ ギラヴァンツ北九州

ギラヴァンツ北九州が運営する屋外空間「ギラパーク東田」にて行われる少年サッカー教室やフットサルイベントにて使用されるテントを寄贈した。

(7) 社会貢献事業

① チャリティーボウリング大会の開催

令和4年10月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

② ラブアースクリーンアップ

令和4年度開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

(8) 優秀社員の表彰

会員企業の社員において、意欲的かつ誠実に業務を遂行され他の社員の模範となって業績向上に大きく貢献、または、業界の発展に寄与された方の功績を顕彰し表彰する制度であり、本年度は、令和4年5月13日 ANA クラウンプラザホテルで行われた令和4年度定時総会において、優秀社員表彰として下記11社18名を表彰した。

(役職等は、令和4年5月13日当時)

西 俊海	アルバクリエイト(株)	販売企画部 課長代理
福島 政義	(株)えんホールディングス	営業本部 部長代理
則常 早織	粕屋殖産(株)	建設部 設計室長
島居 修平	(株)コーセーアールイー	レジデンシャル営業部 課長
石内 太郎	新築都市開発(株)	取締役 事業部長
石橋 知大	西武ハウス(株)	営業部 課長代理
濱地 ゆりか	西武ハウス(株)	総務部 総務課
田代 直也	(株)ダイニチ	工事部
原 奈々歩	(株)ダイニチ	営業部
舩田 耕一	辰巳開発(株)	営業部 部長
吉村 暢弘	辰巳開発(株)	情報管理部 課長
濱田 征美	辰巳開発(株)	総務・経理部
姉川 祥子	ディー・アンド・エイチ(株)	設計部 主任
西山 恵理子	ディー・アンド・エイチ(株)	営業部 主任

坂口 真紀子	日建建設㈱	総務部 主任
稲尾 マリ子	日建建設㈱	総務部 主任
石井 健一	(株)百田工務店	住宅部 部長
渡邊 亮	(株)百田工務店	営業部 マネージャー

(9) 関係団体との協力・連携

当協会より各関係団体へ役員を派遣し、各位の活動により多様な意見・要望を反映させた。

① 一般社団法人全国住宅産業協会（略称「全住協」）

全住協で開催される総会・理事会・各種委員会などに主要役員が出席し、住宅・宅地事業等に関する諸問題の検討審議を行い、政府の住宅宅地政策に関する建議献策及び民間における開発事業の環境改善について要望活動に参画し、住宅対策の推進に協力している。

また、これらの活動を通じて収集された諸情報を全会員へ周知している。

派遣役員は、副会長 橋本大輔 理事長

理事 原田 透 副理事長

なお、役員が出席した活動は以下のとおり。

令和4年6月7日	第53回理事会	ホテルニューオータニ
令和4年7月28日	政策審議会	明治記念館
令和4年9月16日	第54回理事会ほか	ホテルニューオータニ
令和4年11月10日	第55回理事会	ホテルオークラ福岡
令和5年3月24日	第57回理事会	ホテルニューオータニ

② 一般社団法人九州不動産公正取引協議会

会員事業者に対し、「不動産の表示に関する公正競争規約」と「不動産における景品類の提供の制限に関する公正競争規約」の周知に努めるとともに、役員を派遣。また、講師を招き研修会を開催するなどの活動を行った。

派遣役員は、副会長 塩山耕起 副理事長 福岡地区調査指導委員 百田善太郎 理事

③ 福岡県不動産コンサルティング協議会

本協議会は、福岡県不動産業界における不動産コンサルティング制度の普及及び不動産コンサルティング業務を営む不動産業者及び技能登録者等の従事者に対する指導・教育を行い、また、業務の公正かつ適切な執行と業務に従事する技能登録者等の従業者の人材育成を図り、不動産コンサルティング業務の社会的認知の高揚を図る目的として、当協会も団体会員として役員を派遣を行った。

派遣役員は、理事 橋本大輔 理事長

理事 中島伸一郎 副理事長

(10) 九州翔経塾の活動

本会は企業の経営に参画する次世代を担う青年が、不動産の経営もしくはそれに関連する調査研究を行い、経営に関する状況判断を的確に把握し、企業の発展に寄与することを目的として設立された。

本年度の事業内容は、以下の通りである。

令和4年4月18日	幹事会・会計監査	しい葉
令和4年5月19日	総会	八仙閣本店
令和4年12月21日	北将会との合同忘年会	割烹よし田・福岡かつり
令和5年2月15・16日	第1回例会（広島）	トータハウジング・広島かつり

【九州翔経塾メンバー】

【役員】

代表世話人	百田 善太郎	(株百田工務店)
幹事	金子 幸生	(日建建設(株))
幹事	篠原 隆盛	(粕屋殖産(株))
幹事	中屋敷 善太郎	(株なかみやしき)
幹事	東 潤一郎	(東宝住宅(株))
幹事	今村 誠児	(辰巳開発(株))
監査役	彦坂 正幸	(あさひ合同事務所)
監査役	福谷 広志	(株不動産プラザ)

【会員】

山本 浩之	(創健舎工房(株))
今村 成剛	(株今村組)
東 憲和	(東宝住宅(株))
中垣 昌康	(株アライアンス)
大谷 史郎	(株おおたに設計)
川西 亮平	(株トータテホールディングス)
石井 雄	(三和ホールディングス(株))
高城 英一郎	(暮らしのデザイン(株))
森井 大輔	(株創実エージェンシー)
金本 好司	(株ユニバーサル通商)
錦戸 武道	(西部ガス(株))
村上 謙太	(株オークハウジング)
井川 陽介	(株大井不動産)
倉橋 健	(K.ホールディングス(株))